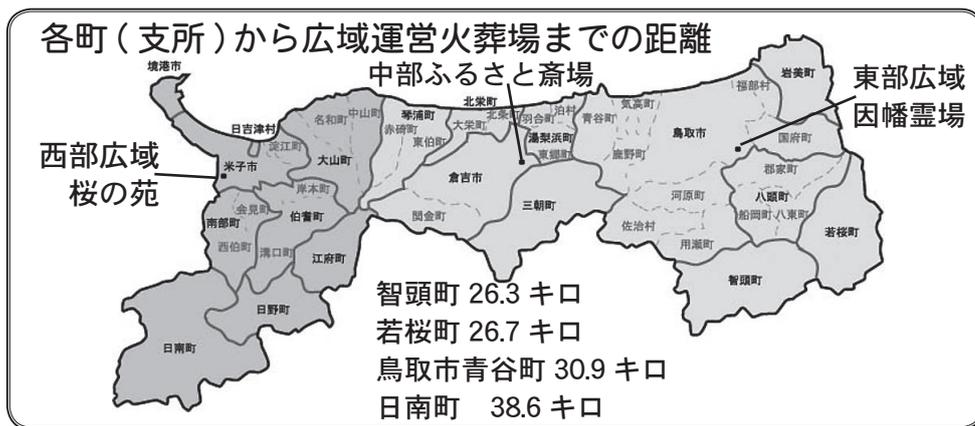


(7) その他の広域行政  
人口減少への対策や行政サービスの維持のため、様々な分野において、広域化・共同化による、より大きな「圏域」運営の方向が国の主導により進んでいます。



このような制度改正のもと、国民健康保険事業は、既に今年度から道府県ごとの運営に変わっています。

鳥取県においても、下水道や水道の広域化・共同化の検討が開始されており、消防分野においてもさらなる広域化の方向で検討中です。

今後、老朽化などにより既設の施設維持費の増加が見込まれる中、広域・共同化により費用縮減ができる事業は参加することによって、歳出全体の抑制が可能となります。

また、新施設建設単独運営の場合でも、火葬場の使用料は現在の20,000円より高くなると想定され、智頭町内に建設したとしても距離が遠くなればマイクログラス利用料が増え、時間もかかる可能性ががありますので、葬儀にかかる個人の負担は上がるのが考えられます。

### ※鳥取県東部広域行政管理組合とは

鳥取県東部圏域の1市4町(鳥取市・岩美町・八頭町・若桜町・智頭町)により組織された広域行政管理機構(特別地方公共団体)で、経済的・事務的効率の観点から各市町が単独で行うより広域的に処理することが適当と思われる事務を行い、人口割りや利用数に基づいて負担金を出し合って運営しています。智頭町の負担金は以下の額で、平均すると約3%程度です。

(以下施設、事業内容)

●鳥取県東部環境クリーンセンター

回収されたごみ(不燃物・資源ごみなど)を選別・破碎し資源物の回収・再資源化を行う  
【30年度費用 4億4,826万円の内 智頭町負担金 1,397万円 3.12%】

●因幡浄園 し尿と浄化槽汚泥、集落排水汚泥を処理し、きれいな水と空気に還元する  
【30年度費用 2億8,561万円の内 智頭町負担金 1,922万円 6.37%】

●新可燃物処理施設整備事業

鳥取市河原町に平成34年8月共用開始予定で可燃物処理場の新施設建設中  
建設費総額 206億円  
【30年度費用 5億5,828万円の内 智頭町負担金 1,448万円 2.59%】

●消防 火災・救急・救命・災害支援・防火・防災など

【30年度費用 26億188万円の内 智頭町負担金 1億355万円 3.98%】

新施設建設費(岩美消防署・八頭消防署)

【30年度費用 2億6,367万円の内 智頭町負担金 812万円 3.07%】

●介護認定審査会

【30年度費用 5,794万円の内 智頭町負担金 219万円 3.78%】

この他、障がい者サービスを利用するための審査会の運営や休日急患歯科診療なども行っています。鳥取県では、中部(中部ふるさと広域連合)、西部(西部広域行政管理組合)も火葬事業を含め同様の業務を行っています。



「智頭の農市」出店者のみなさん

鳥取県東部各郵便局の協力を得て智頭の農市が開催されました。智頭町の豊かな自然環境で育った旬の秋野菜を中心に、加工品、ジビエ料理を販売し、ほぼ完売となりました。また、どうだんむすめの出演並びに郵便局内に設置した智頭杉の木工品展示スペースも好評で、多くの来場者にお越しいただきました。

### 「智頭の農市」開催

10月25日(木)鳥取中央郵便局



LP ガス発電機贈呈

東部支部長の吉田和男さんは「ガスの発電機はまだあまり知られていない。防災機器の一つとして役に立っていただきたい」と話されました。寺谷町長は「近年異常気象により災害が起きやすくなっている。大事に使わせていただきたい」と応じました。

### 災害時の電気の供給に

10月22日(月)

(一社)鳥取県LPガス協会東部支部から本町にLPガス発電機が贈呈されました。



野菜や加工品が大人気!!

摂津市役所から本町を含め4市町が地域の特産品を販売するイベントが開催されました。本町からは富沢地区振興協議会が参加し、ネギや大根、白菜などの野菜、乾燥キクラゲやルバーブジャムなどの加工品を販売しました。販売が開始する前からお客さんの長蛇の列ができ、ほぼ完売し、大盛況に終わりました。

### 摂津市農業祭

11月10日(土)摂津市役所



祝!入館60万人目!

2001年から一般公開され、本町の主要な観光施設として、多くの人が訪れてきました。60万人目となった広島県から来館した家族は、「まさか自分が60万人目になるとは。素晴らしい大邸宅なので、家族や親戚とたびたび来ている」と、話されました。

### 入館者60万人突破!!

11月8日(木)石谷家住宅

国指定重要文化財「石谷家住宅」の入館者数が60万人を突破しました。